

地域の人たちと交流

全通ふれあいフェア

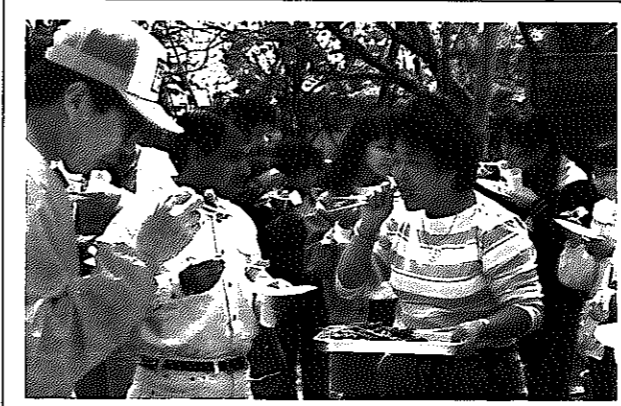
四月二十五日、白根郵便局で「ふれあいフェア」が開催され、ウォークラリー、もちつき大会、抽選会などに約三百人が参加しました。同フェアは、白根郵便局の職員と地域の人たちの交流を目的として、全通新津支部が企画したもの。当日はあいにくの天気ながら参加した子供たちは元気いっぱい。ウォークラリーで約二キロの道のりを歩いた後、つきたてのもちを食べながら、いろいろな景品が当たる抽選会に歓声を上げていました。同支部では、今回の収益金を白根市社会福祉協議会に寄付することとしています。



言葉の壁もなくなって

国際交流会 ザ・花見93

外国人との交流の輪を広げようと、白根国際交流協会が主催した「ザ・花見93」が四月十八日、児童公園で行われました。花見に参加したのは、バン格拉デシュ、スリランカなど七カ国の外国人二十六人を含む七十五人。満開の桜の木の下で各自が持ち寄った料理を食べながら、いろいろなゲームを楽しみました。暖かい春の日差しの中でゲームが進むうちに、言葉の壁もなくなり、あちこちで談笑の輪が広がりました。「外国の人たちと話をするのはとても楽しい。違和感なく溶け込めました」と参加者は話していました。



晴れ着姿 華やかに

平成5年度 成人式

五月三日、カルチャーセンターで成人式が開かれ、新成人三百八十一人が出席しました。晴れ着姿の若者たちはお互いに写真を撮り合ったり旧友と話をしたり、会場は華やいだ雰囲気になりました。竹内市長は「若さは掛け替えのない財産だ。皆さんの英知と勇気と情熱を郷土発展のため役立てていただきたい」とあいさつ。新成人を代表して佐藤正人さん（田中）、清水和佳子さん（五六の町）が「これから故郷を愛する気持ちを持ち続けていきたい。郷土発展のため努力します」と誓いの言葉を述べました。



手始めはエイズの学習

青年スクール 開講

青年教育センター主催の青年スクール（前期）が、五月十二日に開講し、過去最高の百二十二人が受講しました。今年度は英会話、レクリエーションの二コースを新設して八つのコース別学習が、さらに全員を対象とした合同学習が行われます。開講式で岡田教育長は「生涯学習時代といわれる中、楽しく学習することが大事。多くの出会いから得られるものを大切に、大いに仲間づくりをしてほしい」とあいさつ。社会的に大きな問題となっているエイズについてのビデオ学習でスクールのスタートを切りました。



目指せ、未来の貴ノ花

わんぱく相撲

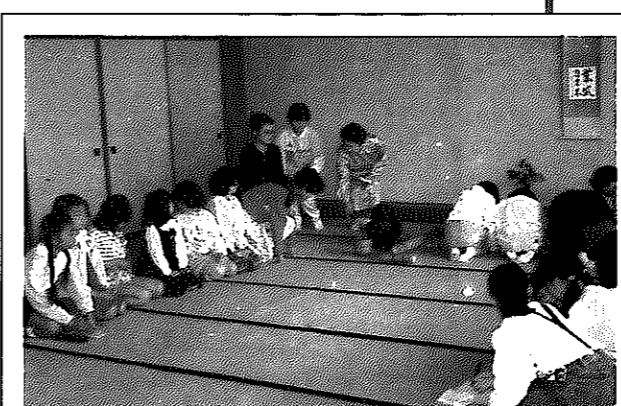
第三回わんぱく相撲白根場所が、五月十六日、小林小学校土俵場で行われました。これは白根青年会議所が主催したもので、小学四年生から六年生までの男の子が参加。学年別の個人戦と、各学年が一人ずつ入った団体戦が行われました。全国大会まで進めば国技館の土俵で相撲が取れるとあって、対戦も応援も力が入ります。人気の貴ノ花もこのわんぱく相撲で横綱に。未来の貴ノ花を目指せと、土俵上では熱い戦いが続いています。大会の結果は本紙六月十五日号でお知らせします。



楽しみはお菓子？

白根公民館 子供茶道教室

五月八日、子供茶道教室が青年教育センターで開かれました。これは学校週五日制の対応として白根地区公民館が主催しているもので、毎月第二土曜日に開催。小中学生の親子二十九人が参加しています。歩き方やあいさつの仕方など、作法を聞くときは、少し緊張の面持ちの子供たち。でも、お茶をいただくときはニコニコ顔です。ここで使う茶わんは市内の陶芸グループが製作して、公民館に寄贈したもの。名器で味わうお茶はまた格別です。でも子供たちの本当の日当では、どうやらお菓子にあるのかも？



白根絞りで市章を製作

サークル ふきのとう

白根絞りを継承しようと活動しているサークル「ふきのとう」の皆さんが絞りで市章を製作。四月二十三日、市に寄贈しました。「巻き上げ」と「縫い木目」という二種類の技法で絞り上げた二点の市章は、絞りならではの素朴な味わい。「昨年名古屋で開かれた国際絞り会議参加の際に、市から援助を受けたことへのお礼です。素材や絞り方など、いろいろ試みましたが、市章の形をきれいに出すのに苦労しました」とサークルの中山さん。市章はカルチャーセンターと、来年完成するしろね大風と歴史の館に飾られます。



被災状況を衛星放送で

情報伝達 演習

白井橋上流部の庚塚用水口付近の堤防から出水という想定で、五月十日、情報伝達演習が行われました。これは現地の災害状況を、衛星放送を使って直接建設省へ伝えるもので、同省信濃川下流工事事務所が行ったものです。この日の天候は雨。一段と雨脚の強くなった午後三時十五分、現地に対策本部が設置されました。テレビカメラが、被災状況などの説明を受ける助役らを撮影。パラボランテナを備えた水防対策車がその映像を即時に建設省へ送り、演習は無事に終了しました。

